

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立上板中学校（徳島県）【指定校】

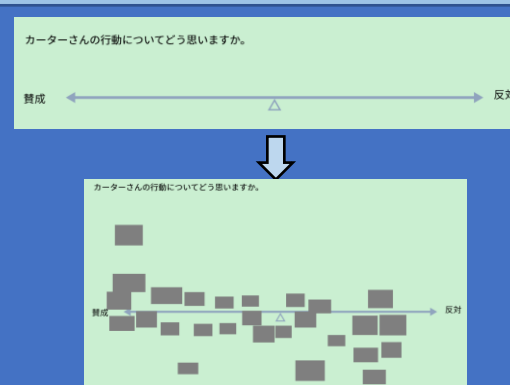
【取組内容②】 情報活用能力の育成「整理・比較」～シンキングツールやクラウド環境の活用～

シンキングツールの活用
(教科のねらいに向けて)

中学校 数学科でのYチャートの活用

表、式、グラフのメリット、デメリットを考えるために、それに向けたYチャートを学習支援ソフトの共有シートで提示した。

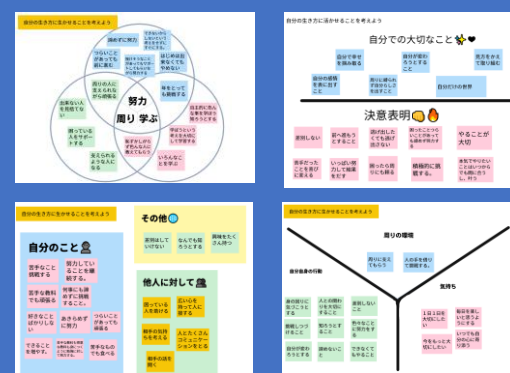
同じYチャートを共有したことで、班での議論を学級全体に広げるときにも円滑に行うことができた。

クラウド環境の活用
(学習支援ソフトで、意見の共有)

中学校 道徳科での共有シートの活用

道徳の教材に出てくる登場人物の行動に対して、賛成か反対か、どの辺りの考えなのかをシートに名前を入力して、貼り付けた。

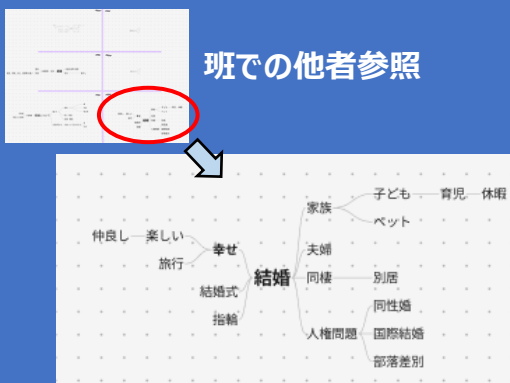
同時に編集し、それぞれの考えや、学級全体の生徒の考えの様子を把握することができた。

シンキングツールの活用
(生徒の自由な発想を引き出す)

中学校 人権学習での思考ツールの活用

人権学習を通して、自分の生き方に生かせることを考え、班で学習支援ソフトの共有シートで共有した。

Yチャートやベン図などのシンキングツールを生徒が選択し、班で意見を共有することができた。小学校からの活用により、自然と自分たちでシンキングツールを活用することができた。

クラウド環境の活用
(デジタルホワイトボードソフトで、思考の広がりを実感)

中学校 人権学習でのマッピングの活用

結婚に関する差別について考える際に、漠然としたイメージだったものが、班での他者参照やインターネット検索、教員の助言などにより、マッピングが大きく広がった。

教員も、生徒自身も、考えの変容や広がりを認識することができた。